

## 教科(理科)

### 1. 家庭学習のやり方

予習と復習が大切です。短い時間でも良いので、必ず1日1回は机に向かう習慣をつけましょう。その日の授業でやったところを、教科書とノート、プリントなどで振り返り、確認をしてください。そして、次の日の授業でやりそうなところの教科書に目を通しておきましょう。ざっと目を通すだけでも構いません。もちろん、このときには理解できないことだらけでいいのです。一度見ておくだけで、次の日の授業が全然ちがいます。また、宿題や提出物の指示が出ていたら、必ず仕上げで期限までに提出してください。

### 2. 授業でのノートの取り方

まず、鉛筆やシャープペンシルの他に、赤、青、緑などのカラーのペンやマーカーペンを用意しましょう。黒一色のノートでは、どこが大切なところなのかわかりません。後で見たときに、重要なところ、先生が強調したところがわかるように、工夫して色を使い分けましょう。また、ただ単に黒板に書かれたことを丸写しするのでは良くありません。先生の説明を良く聞いて、自分でどんどん書き足していきましょう。ノートは、自分が後で見、授業の内容を思い出すためのものです。自分で工夫して、自分なりのノートを仕上げていきましょう。

### 3. 試験勉強の仕方

まず、授業でやったことを振り返ってしっかりと確認をしてください。そのために必要なものは、何と言ってもノートです。しっかりとノートをとってあれば、それを見たときに「先生はここを強調していたな。」「このところでは〇〇の話が出てきたな。」といったように授業の内容が頭の中によみがえってくるはず。次に、教科書の問題や問題集、プリントなどの問題があれば、必ずやっておきましょう。一度授業でやってある問題でも、もう一度やってみましょう。そこでできないところがあれば、先生に質問に行ってください。

### 4. 受験勉強の仕方

受験するからといって、はじめから難しい問題集や参考書を買う必要はありません。基本をしっかりと固めなければ応用ができるはずはありません。授業でやったことが、大切な基本なのです。まずはここを繰り返し繰り返し確認しましょう。そしてその次に、自分の進路に応じた受験対策が始まるのです。ここで、先生に相談をして、自分にあった問題集や参考書を紹介してもらいましょう。わからないところは、遠慮なく先生に質問してください。最後まで諦めてはいけません。ねばり強く取り組みましょう。